

全老連

2019.

9

第467号

各地の活動から



笑顔を願って 社会奉仕の日

三重県津市
南が丘睦美会

「社会奉仕の日」の取り組みとして、グラウンド・ゴルフ愛好会のメンバー 14、5 人が中心となり、毎年、町内のつつじ公園の草抜きをしています。

草がすぐに生えてくるので、年に 5、6 回実施していますが、9 月は「社会奉仕の日」ののぼりを立てて行い、ゴミは大き目の袋に 5～6 袋になります。

公園は、私たちも週 3 回グラウンド・ゴルフの練習に使っているのですが、清掃活動は当たり前のことですが、他にも小学生から高校生までの生徒がソフトボールや野球の練習に来たり、住民が球技の練習をするためにやってきます。こうした子どもたちがけが無く楽しく使えるように、町の人がたくさん来るようにと話し合い、先代の会長の頃から実施しています。今年もみんなで集まって活動する予定です。

きれいな地域、きれいな地球を 子どもたちへ

～ 9 月 20 日は全国一斉「社会奉仕の日」です。

「社会奉仕の日」は、現在 9 月 20 日を中心に全国各地で取り組まれています。この運動は、昭和 59 年、敬老の日（当時 9 月 15 日）に感謝する行事として、神奈川県・横浜市・川崎市の各老連が一斉奉仕活動として実施したことが始まりです。取り組みは全国各地の会員の共感と賛同を呼び、翌年には全国 10 数県に活動が広がり、昭和 61 年には全国三大運動の一つとして取り組むことを決定し、今日に至っています。

現在は、「老人の日・老人週間」の期間中積極的に、「健康・友愛・奉仕」の三大運動を展開して、健康づくりと社会参加への高齢者の意欲と姿勢を示そうと呼びかけています。

本号では、各地の老連やクラブで取り組まれている活動を紹介します。

みなさんのクラブや老連においても、この機会に老人クラブの存在を PR して、感謝を伝えましょう。

●集めたゴミ袋は市内で 11,500 袋

——名古屋市老連

名古屋市老連では、昨年 1,085 クラブ（15,336 名）が参加、2,301 か所で清掃奉仕活動に取り組み、集めたゴミの総量は 11,496 袋（45 l 袋）になりました。

守山区吉祥会 グラウンド・ゴルフ活動に利用している 1,000㎡のグラウンドに、早朝から 72 名が参加し、日頃の感謝を込めて皆さん楽しみながら一生懸命に清掃活動を行いました。集めた草や



名古屋市守山区吉祥会

落ち葉は 101 袋になりました。

天白区アクティブシニア笹山クラブ 国道 59 号線沿いの歩道を清掃。「町がきれいになれば、心もきれいになる」とは、参加者の感想です。

●延べ 8 万 7 千人が「健康・友愛・奉仕」活動に参加——鹿児島県老連

老人週間の期間中、社会奉仕の日の取り組みも含めて、「健康・友愛・奉仕」活動に県内 34 市町村老連で 8 万 7 千人が参加しました。鹿児島県出水市老連では、小学生といっしょに清掃奉仕に取り組みました。



鹿児島県出水市老連

各地の取り組み

▶福島県富岡町老連郡山会 仮設住宅の草刈りとグラウンド・ゴルフ大会を開催しているグラウンドの整備を行いました。



▶新潟県燕市燕地区老連 「早朝草取り」を老人福祉センターで実施、施設の利用者から気持ちが良いと喜ばれました。



▶堺市美原区西校區老連 地域貢献活動として年4回、地区会館や周辺の道路の清掃活動を行い、地域の皆さんに感謝されています。



▶山口県岩国市むつみ第一親友会 子ども達に気持ちよく遊んでもらうために、保育園の先生も加わり公園内外の草刈りと清掃を実施。



▶香川県さぬき市福寿会 町内のカーブミラーの清掃に取り組み、交通安全にも役立っています。



9月15日「老人の日」は、令和につなぐ老人福祉の記念日

9月15日は「老人の日」、その日から21日までを「老人週間」として、内閣府や厚生労働省をはじめ、福祉・医療関係団体が主唱して、全国的なキャンペーンを展開しています。老人クラブはこれに呼応して、「仲間と集い、高齢者の元気な姿を示そう！」をスローガンに、「老人クラブ『老人の日・老人週間』」を提唱し、「健康・友愛・奉仕」の三大運動を積極的に展開して、健康づくりと社会参加への高齢者の意欲と姿勢を示そうと呼びかけています。

そもそも「老人の日」は、老人福祉の記念日です。昭和22年、兵庫県野間谷村（現多可町）で9月15日に敬老行事を行ったことがきっかけとなり、兵庫県で9月15日を「としよりの日」とする県民運動が実施されました。この運動が全国に広がり、昭和38年に制定された老人福祉法において「老人の日」が決められ、その後「敬老の日」として国民の祝日となりました。

平成13年、「祝日三連休化法案」の可決・成立により、「敬老の日」は平成15年から9月の第3月曜日となりました。老人クラブはこの法案成立の過程で、国民自ら築きあげてきた、わが国の老人福祉の記念日ともいえる9月15日を残そうと各方面に働きかけ、その結果、老人福祉法が改正され、平成14年から新たに9月15日が「老人の日」、同日から1週間が「老人週間」となりました。

北から南から

老人クラブパワーで 多様な世代間交流を展開

島根県益田市高津地区老人クラブ連合会 ● 6 クラブ ● 会員数 148 名

学校の課外活動に積極的に関わる

老人クラブが団結して小学校の課外活動に積極的に関わり、地域と学校との結びつきを取り戻そうと、先生方と折々に協議を重ねながらさまざまな活動に取り組んでいます。

○登下校の見守り

毎朝、会員がそれぞれの地域で交差点などに立って登下校の見守りを行っています。新入生については、入学後から家庭訪問が終わるまでの約一か月間、下校時の見守り隊として学校から自宅まで会員が付き添っています。

○さつま芋の苗植え

毎年5月には、1年生または2年生と一緒にさつま芋の苗を植えています。苗の準備や草刈りなどの管理も行っています。学校からの声かけもあってか、今年度は保護者の参加が急増し、にぎやかに苗を植えました。

○講師の派遣

茶道、ソフトボール、囲碁など、会員の特技を活かして、クラブ活動へ講師を派遣しています。会員も子どもたちに教えながら一緒に楽しんでいます。

○入学式や卒業式には、老人クラブが育てたパンジーのプランターを提供し、子どもたちの入退場



20年続くサンタのクリスマスプレゼント

をフラワーロードとして彩っています。パンジーの苗や肥料、土などの活動費を捻出するため、子どもたちが一生懸命アルミ缶を集めているので、私たちが会長宅に回収箱を置くと、地域の方々も協力して下さっています。

活動費の財源は、他にも小学校からいただく活動費、地区社協の助成金、地区老連でも一部負担しています。今年度は保護者会から激励金として応援いただきました。

連携を密にして期待に応える

小学校からは、「ありがとう会」（年2回）を開催してもらったり、入学式、運動会、卒業式に来賓としてお招きいただいています。中には、日々成長する子どもたちとの交流にうれし涙を流す会員もいます。また、町内で出会った際の子どもたちのあいさつの声がとても元気になりました。今年度より、小学校の学習室を老人クラブの月例会などに無償で利用できるようにしていただける予定です。校長先生からは、「子どもたちとの自然の交流のために、来られた時には声をかけてやってください」と言われています。ここを拠点に、学校との連携をより密にしながら、今後、自分たちのできること、期待されていることに取り組んでいきたいと思います。

(会長 吉山 典佑)



卒業を迎える6年生と一緒に窓ふき清掃

北から南から

居場所づくりを広げて、 高齢者同士の支え合いにつなげよう

長崎県壱岐市老人クラブ連合会 ● 91 クラブ ● 会員数 5,767 名

市老連は、高齢者が互いに支え合う活動として、全老連が提案している「集いの場づくり」「暮らしの支え合い」「情報を届ける」の三つの活動に取り組んでいます。

集いの場づくり

～気軽に参加できる居場所の提供

①ふれあいサロン活動

社協が提案する「集いの場づくり」を受けて、現在 63 のサロンが活動しています。登録者は 1,132 名。主な取り組みは、おしゃべり中心の茶話会、介護予防教室、お笑いヨガやソフトエアロ・太極拳などの健康教室で、老人クラブ未加入の方への参加の声かけも積極的に行い、加入促進にもつなげています。



お笑いヨガ体操

②男の料理教室

「ある日突然に男が一人暮らしになったら…」単位クラブの会長、副会長を対象とした男のための「料理教室」を壱岐市ヘルスメイトの指導を受けて、年に一度実施しています。目的は、正しい食事の摂取ですが、独り身になっても困らないため



男子厨房に入る

の献立の知識と技量の習得と、独り身男性のひきこもりを解消するためでもあります。今後は対象範囲を会員まで広げて、集いの場を提供していく予定です。

暮らしの支え合いを広げよう

～社協と連携した活動「地域福祉協力員」

市社協と連携した「見守り活動」では、「地域福祉協力員」として地域のアンテナ役になっています。自宅訪問に限らず会合や路上での声かけ等を通じて、「気づいて」「受け止めて」「つなぐ」役割です。昨年度は市老連の役員 28 名に、また今年度は 91 クラブの会長に総会の折に活動内容を説明して承認いただきました。社協独自の取り組みで、地域福祉を推進するためのボランティアとして、民生委員をはじめ関係団体と連携し取り組んでいます。

役立つ情報を届けよう

～「広報ねんりん」の発行で情報の共有

昨年度から市老連の広報誌「ねんりん」を全ての会員の方々へお届けしています。市老連の活動状況や全単位クラブ、地域の行事に関する情報、生活に役立つ耳よりな情報や研修会で学んだ高齢者の健康情報などを届けて共有しています。声をかけて直接手渡すことで「見守り」活動にもつながります。昨年度は 2 回の発行でしたが、今年度は四半期（春夏秋冬）の発行を計画しています。

今こそ、誰でも気軽に参加できる、いつでも自由に立ち寄れる「今日の居場所、明日の居場所」づくりを提供していくことが、孤独や閉じこもりを防ぎ、高齢者同士の支え合いにつながるものと考えます。

（事務局長 山口 信幸）



いちようだより

よりよいクラブ活動のために 活動を記録し、保存しよう

～令和2年度版「老人クラブ活動日誌」「会計簿」のご案内

老人クラブの運営で基礎となるのは、日々の活動記録や適切な会計処理と記録の保存です。全国老人クラブ連合会では、これらを簡便に整理しておくことができる年度版の「老人クラブ活動日誌」と「老人クラブ会計簿」を発行しています。

まだお使いでないクラブのみなさんは、ぜひご活用ください。既にお使いいただいているみなさんは、引き続いてのご利用をお願いします。また、市区町村老連においては、新設クラブへの紹介をはじめ後継リーダー育成にご活用ください。

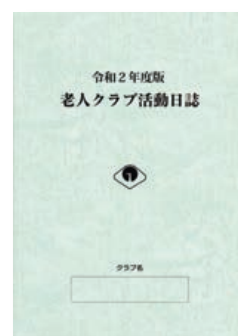
■老人クラブ活動日誌

A4判、120ページ程度、価格700円

日々の活動記録を記入するページを充実させています。また、関連資料を掲載しているので、活動の記録をつけながら老人クラブの役割や活動について確認することもできます。

〈主な内容〉

年度計画表、月間予定表、会員出席記録、活動記録、関連資料（老人クラブ運営指針、クラブ活動の全体像等）



■老人クラブ会計簿

A4判、50ページ程度、価格400円

クラブの会計は、補助金や会員からの会費を預かる大切なものです。適切に処理を行い、関係書類を保存していくことが必要になります。この「会計簿」は、老人クラブ専用に使っていますので、会計が初めての人でも使いやすいようになっています。

〈主な内容〉

会費徴収帳、金銭出納帳、予算書、決算書、証書添付欄



◆申し込み方法

12月初旬までに、最寄りの市区町村老連、または都道府県・指定都市老連にお申し込みください。

なお、事前の申し込み数により製作しているため、締め切り後のご希望には添えない場合があります。どうぞこの機会にお申し込みください。

販売・全国社会福祉協議会

ハッカポプリ袋の作製・贈呈

北海道北見市老人クラブ連合会
北見支部女性委員会

平成 21 年に開催された「ねんりんピック」では、地域文化伝承館や弓道大会（北見市開催）の参加者へのプレゼントとして、「ハッカポプリ袋」を製作しました。これをきっかけに、女性委員会の活動として始まり、女性委員が古布で作ったポプリ袋に女性委員会理事がハッカ葉を袋詰めしています。毎年約 700 個作製し、日本語（400 個）と英訳（300 個）のメッセージを添えて北見市ハッカ記念館に寄贈して、訪れた観光客に大変好評を得ています。昨年、北海道老人クラブ大会を北見市で開催した際には、参加者全員に記念品



私のクラブの
“オリジナル”



として贈呈され、北見市の名産としてだけでなく私たち女性委員会の活動としても認知されました。

みんなのひろば

鎮魂のお堀の灯りと 平和の伝承

福井市順化地区健康クラブ連合会

福井市順化地区では、福井空襲や震災で亡くなられた方々の鎮魂の意を込めて、毎年 7 月に「福井城址お堀の灯り」イベントを開催しており、老人クラブも企画運営、準備等に多くの会員が参加協力しています。

イベントでは、福井城址およびその周辺でろうそく等によるライトアップを行います。老人クラブもペットボトルを利用した「灯り」の作製に参加しています。毎週木曜日の午前中、公民館で作業を行い、「木曜お堀の会」と呼称した作業メンバー（半数は会員）が中

心となって、1 年かけて 6,800 個の「灯り」を作ります。

「灯り」づくりは、地元の小学校児童も行い、その際、会員が空襲時にお堀に飛び込んで避難した体験談等を話し聞かせて、子供たちに戦争や震災の恐ろしさ、平和の大切さを伝えています。



「木曜お堀の会」ブログより

2020年、
さすがJAPAN!
って言われたいよね。

私たちはすべての挑戦を応援します。
To Be a Good Company
東京海上日動
東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050

TOKYO 2020
TOKIO MARINE
NICHIDO
TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES
東京2020 ゴールドパートナー（損害保険）

 **SOMPO**
ホールディングス | 保険の先へ、挑む。 | **損保ジャパン日本興亜**

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜はSOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
Tel: 03-3349-3111 <https://www.sjnk.co.jp/>

立ちどまらない保険。

MS&AD

三井住友海上

編集後記

消費税率が10%に引き上げられるまで、残り一か月を切りました。飲食料品の軽減税率（8%に据置き）の導入に加え、来年6月までの九か月間限定でキャッシュレス決済へのポイント還元が始まります。私はこれまで買い物するときに、クレジットカードや

電子マネー、スマートフォンなどで決済したことがありません。ポイント還元を受けなければいいだけの話ですが、なんだか残念な気がします。時代の流れなのでしょうが、新しい仕組みが取り入れられるたびに戸惑うことが多くなるこの頃です。（正）

60周年記念会員章を胸に活動の輪を広げましょう。

全国老人クラブ連合会は、令和4年（2022年）に創立60周年を迎えます。これを記念して「60周年記念会員章」を作製しました。



- 直径 17mm タック式
- 期間限定 2019年～2022年
- 1口 1,000円

- 令和元年9月10日発行（毎月1回10日発行）第467号
- 編集人／加藤博康 ●発行人／齊藤秀樹 ●発行所／公益財団法人 全国老人クラブ連合会
- 住所／〒100-8917 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階 ●電話 03-3581-5658（代） FAX 03-3597-9447
- ホームページアドレス <http://www.zenrouren.com/> ●E-mail zenrou@zenrouren.com ●編集協力 株式会社 凱風企画